

第二期新武蔵野クリーンセンター（仮称）施設・周辺整備協議会（第6回）
議事要録

日時 平成24年07月24日（火）午後7時～午後9時12分

場所 クリーンセンター3F 見学者ホール

出席 小澤紀美子会長、水谷俊博副会長、新垣俊彦委員、金子和雄委員、島森和子委員、高石優委員、飯村雅洋委員、山崎君枝委員、平田昭虎委員、木村文委員、藻谷征子委員、塩澤誠一郎委員、狩野耕一郎委員、越智征夫委員、高橋豊委員、村井寿夫委員、早川峻委員、高橋健一委員、興相信子委員、木村浩委員
事務局（馬場主査他）

コンサルタント（株式会社日建設計 高津敬俊主管他）傍聴者12名、記者0名

欠席 園田治委員、千綿澄子委員、岡田敬一委員

配布資料 1. 次第、2. ‘エコセンター（仮称）’と‘エコプラザ（仮称）’
3. エコプラザ（仮称）の考え方の整理 事例集
4. ‘エコセンター（仮称）’と‘エコプラザ（仮称）’スペース検討図
5. 視察とお話を聞く会実施の提案
6. 緑町コミセン・リニューアル・プロジェクトチーム活動報告書
7. これからの検討課題と提案

1. ‘エコプラザ（仮称）’の考え方の整理（事例紹介）

- ・ 事務局より、資料3の（1）学び（2）創造について説明。
- ・ 会長 板橋区のエコポリスについて、指定管理者へ変更後、時間をおいて改めて訪れるのもよいと思われる。川崎のエコ暮らし未来館を訪問したが、もう少し手作り感が必要であると感じた。愛知県豊田市のエコットも以前に見学したが、子供たちが買い物をしながらエネルギー等について考えることができるようになっており、なかなかよいものであった。
- ・ 委員 ハイテクを用いたものは更新ができずにすぐに陳腐化してしまうため、なるべくローテクにしたほうがよいと感じる。また、このクリーンセンターの役割は、ごみの減量であり、そのためには商店、地域が協力していかななくてはならない。処理する場所、リサイクル品の販売、先進的な機械の紹介などいろいろな取り組みについて、他の団体などとの棲み分けの枠組みを決めていかないと何をやるのか分からなくなってくる。全てをクリーンセンターで行う必要はなく、他とのネットワークなどを考えながら日常的に利用されるプログラムをイメージするのがよいと感じる。
- ・ 委員 子供の視点、一般主婦の視点、年配者の視点などあらゆる年代が利用できるものであるべきである。イベントではなく、日常的に関われる形が重要ではないかと考える。
- ・ 委員 ごみ減量に市としても取り組んでいるが、他自治体と比べまだ進んでいないと思われる。バイオマスなど枝葉をもっと活用したりリサイクル施策があってもよいと思われる。
- ・ 事務局より、資料3の（3）コミュニケーション、2. 地域力の向上から求められる機能、3. まちづくりと連携から求められる機能について説明。

- ・ **委員** スーパーなどでは、賞味期限切れ間近のものは値段が下げられ、廃棄量は減っている感じもする。こういった廃棄物を減らしていくという取り組みの中で、若者が受け入れられるものを何らかし組み合わせていってもいいと感じる。ランドリーについても、洗濯の待ち時間を利用したコミュニティの形成やランドリーの利用を機会としたごみ啓発ができるようになればおもしろいと思う。
- ・ **会長** シーツをアイロン掛けしてくれる機械が北欧の集合住宅に設置されていて、素晴らしいと感じた記憶がある。3Rだけでなく、Refuse をコンセプトとしたデザインを展示し、若者を惹きつけていくのもおもしろいと思う。

2. ‘エコセンター（仮称）’と‘エコプラザ（仮称）’スペース検討について

- ・ 事務局より資料4について説明。
- ・ **委員** エコプラザ1階について、1階は非常に重要なスペースであり、他施設でも興味深い施設は全て1階の使い方がよく考えられている。コミュニティスペースのような留まることができる場所があるとよいと思う。また、現在の入り口を利用するのであれば、芝生広場側からも入れる方が小規模な展示やイベントの際に親しみやすく、便利になると考える。
- ・ **副会長** エコプラザは既存建物をベースに計画されているが、増築の可能性はないのか。
- ・ **市委員** 建築基準法など法令との絡みがあるため、増築は考えにくい。また1Fのあり方について、芝生広場との間の開口は、耐震の問題等の検討が必要だ。正面を広場とするのか、現在の入り口とするのか考えなくてはならない。事例集とこのスペースをイメージしながら、今後どのような機能を入れていくのか議論していきたい。
- ・ **委員** エコプラザの建物は重要ではあるが、緑町コミュニティセンター、グラウンドなどを含めたまちづくりというのはどの段階で検討を行うのか。
- ・ **市委員** 第1期の提言でまとめている通り、エコセンター・エコプラザを整理したうえでエリア整備、周辺まちづくりを段階的に検討していくものと考えている。
- ・ **委員** 吹抜になっているプラットホームに床を張ればよいのではないか。
- ・ **市委員** 建築基準法において床を張るということは、構造的な制約が多く発生してしまう。ただ、プラットホーム部分の大空間をどのように生かすかは重要な要素である。
- ・ **会長** 耐震化の工法は進歩してきており、いろいろなことができるだろう。イギリスなどで既存を生かした現代的なデザインを行った事例もある。構造、機能、動線、デザインをどのように魅せるかが重要であり、最後はデザイナーのセンスに任せるところもある。緑町コミュニティセンターとのつながりはまだイメージできていないが、家庭用エレベーターでも設置すると利用に広がり生まれるのではないかと考える。若者や子供を含めて活性化するということが、非常に重要である。

3. 委員提案

- ・ 委員より「かえっこ」や福岡古賀工場のデザインプロデュースなどで有名な藤浩志氏のアーツ千代田3331における展示を鑑賞したうえで、同氏へお話を聞く会についての提案。
- ・ 委員より緑町コミセン・リニューアル・プロジェクト活動について報告。
- ・ 委員より緑化の課題、周辺公共施設の課題、駐車場の課題について提言。
- ・ **市委員** 横断会議のほうに委員の提言について話はするが、長期的なものとなると思われるた

め、即座に結論を得ることは難しい。

- ・ **会長** クリーンセンターの方針を決定するのはこの協議会で行うが、庁内において中長期的に取り組むを考えていく組織が必要である。

4. その他

- ・ **事務局** 視察とそれを踏まえた作業部会を開催したいと考えている。ご都合のつく方に任意で参加いただきたい。日程調整表にて参加可能な日程を調整したい。
- ・ 会長より閉会挨拶。

以上